

活動報告書

報告者氏名：平川 千佳

所属：福岡市立屋形原特別支援学校

記録日：2013年 2月12日

【対象児（群）の情報】

・学年

中学3年生 女生徒

・障害名

自閉症、知的障がい

・障害と困難の内容

日常の簡単な会話は理解できる。問いかけに対し、本人が知る限られた語彙を使用し、短い言葉ではあるが、状況に応じた返答をすることができる。

小学4年生程度の漢字の読みを学習中であるが、漢字を書くことは苦手としている。

文章を書くことを苦手としており、助詞の使い方や文章表現に間違いが見られる。

【活動目的】

・当初のねらい

夏休み宿題で行った絵日記（実際に提出してきたのは写真日記）を、2学期以降も継続することで、文章表現力をつけたい。特に、助詞を正しく使うこと、表現方法を適切にして、相手に伝わりやすい文章が書けるようになることをねらいとした。また、長期的には、出来ごとを表現するだけでなく、自らの考えや思いを表現できるようになってほしいと考えた。

文章を書くことは苦手としている生徒であるが、パソコンに興味を示していることから、ブログなら興味を持って継続できるのではないかと考えた。また、ブログを公開することで、他の人がわかる表現という観点から文章を添削でき、生徒も添削されることを受け入れることができるであろうと考えた。

ブログ作成にあたっては、周りの教師に協力を依頼し、コメントを書いてもらうことで、生徒が人と文章でのコミュニケーションを経験できるようにし、興味関心を高め、意欲的に活動できるようにした。

本プロジェクト終了後も、活動を継続させることを念頭に、活動を組み立てた。

・実施期間

2012年9月20日～ ほぼ毎日（現在継続中）

・実施者

平川千佳

・実施者と対象児の関係

担任

【活動内容と対象児（群）の変化】

・対象児（群）の事前の状況

それまでも絵日記などをつけることを再三提示したが、文章を書くことを嫌がり、学校では実現しなかった。夏休みの宿題に説得し、写真日記として行うことでなんとか同意を得ることができた。（紙面）

文章には文法的な間違いが見られたが、こだわりもあり、修正をすることが難しかった。

また、文章を書くときは、書く内容を具体的に提示する必要があった。

漢字の読みを学習の中で継続していたが、漢字を書くことには抵抗があるようで、本人が書くときは、ひらがなでの記述がほとんどである。

・活動の具体的内容

絵日記(写真日記)をインターネット上で継続しようと提案し、本人同意のもと、一緒にブログを開設した。ブログの開設は、初心者向けと言われるFC2ブログを使用した。毎日の更新は、貸出機(スマートフォン)からアプリ(FC2ブログ)で行っている。学校での活動を報告するというので、取り組みを始めた。ブログに掲載する写真は、生徒自身が撮影するようにしたかったが、当初生徒は自分でカメラを操作することを拒み、かつ、本人自身が活動している様子を撮影した写真でブログを書くことを望んだため、撮影は教師が行うことから開始した。生徒自身の写真を掲載することになるため、ブログにパスワードロックをかけ、保護している。



ブログにアクセスしようとすると、パスワード認証画面が出る。FC2ブログの機能。



下書きを見ながら、ブログを書いているところ

・対象児(群)の事後の変化

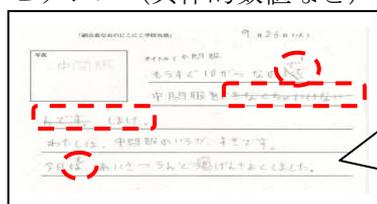
取り組み始めたころは、何を書けばいいかを尋ねてきて、教師が伝えた通りに書いていたが、生徒自身がその日の活動を振り返り、書く内容も自分で決めて書くことが増えてきた。写真も、あまり多くはないが、生徒自身が撮影してブログに載せることも見られるようになった。毎日繰り返していることで、文章表現も、訂正を必要としない日ができてきた。下書きは今でもひらがなで行っているが、入力時に漢字変換を行い、ブログは漢字を使用して公開している。ブログ公開前に入力したものをチェックすることで、漢字の間違いを指摘でき、漢字の学習にもつながっている。生徒が表現したい漢字の学習という点で、有効である。また、下書き時と公開前に、出来たことを教師に報告する習慣がついたことも、評価できることと言える。

【報告者の気づきとエビデンス】

・主観的気づき

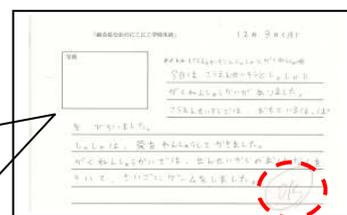
毎日の更新で自信をつけたようで、当初書く内容をすべて指示していたが、今では下書き用ノートを自分から出し、内容も決めて書き、「できました」の報告ができるようになってきている。まだ、「〇〇しました。」の報告記事が多く、感情を自分から表現するまでには至っていないが、コメントのやり取りや、どう感じたかを聞いて表現を加えることで、感情の表現が自分から出るようになるよう、継続していきたい。

・エビデンス(具体的数値など)



ブログを開始した頃の下書き。行数も少なく、文法や文章表現での書き直しが多くあった。

現在の下書き。行数を増やしているが、これでも足りないことがある。訂正不要でOKとしている。



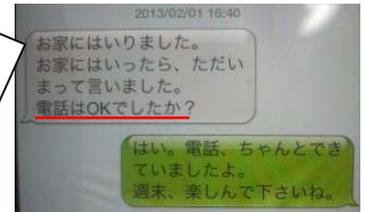
・その他エピソード(画像などを含めて)

学校生活だけでなく、家庭生活にも広がりを持たせるため、冬休みに家庭生活の様子をブログに更新することを提案した。本人も、スマートフォンの持ち帰りに同意し、冬休み中にブログの更新を行うことができた。自信がついたことで、他の活動にもチャレンジする姿が見られるようになった。具体的には、3学期から、路線バスでの登下校に取り組み始め、電話とメールで帰宅報告を毎日行っている。会話に積極的ではなかった生徒が、電話で帰宅報告ができるようになったことは、大変意義深いことと思っている。メールは、うまく電話が出来ていたかどうかを確認してくる内容で、生徒が表現したい感情が表出されている。また、文字として残るため、後で表現の振り返りができ、文章力の向上にもつながるものと考えている。

生徒からのメール。

「電話は OK でしたか？」と、帰宅報告の電話の後、確認のメールをしてくる。うまく電話ができていたかどうかを確認したいという、生徒の気持ちの表れと考えられる。

最近のメールには、確認だけではなく、帰宅したときの様子なども書いてくるようになってきた。



<別の生徒用に使用していたアプリを紹介します (iPad では見つけれなかったアプリのみ) >



プライバシーガード : 選択したアプリに、4桁のパスワードロックをかけることができる。

生徒に携帯を持ち帰した際、様々なアプリに興味を持ち、自由に使うため、設定などが変わってしまうことがあった。このことを防ぐ目的で、使用できるアプリを制限した。ロックをかけておいたアプリを起動しようとする、4桁のパスワード入力が必要される。



ひらがななぞり : ひらがなを正しい書き順でなぞらないと、次に進めない。

ひらがなを選択し、選択した順になぞり書きをすることができる。

生徒の名前 (例: やかたはなこ) の文字を選択し、名前を書く練習ができた。